

# 会長表彰

2008年（平成20年）6月23日



船越 元（農業／総合技術監理部門）

## 1. 略歴

技術士登録（S 63） 支部幹事（H 15～現在）  
（社）日本技術士会入会（H 6） 地域産業研究会会長（H 9～H 18）  
センター理事（H 7～H 14）

## 2. 会長表彰を受賞して

本年6月、（社）日本技術士会会長表彰という栄誉を賜りました。これは北海道支部会員各位の温かいご支援の賜物と感じ入りますとともに、まずはこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

私は広報委員会を皮切りに、防災研究会、地域産業研究会、RS研究会、総務委員会など多くの支部・センター活動に参画させて頂きましたが、これら活動を通して様々な分野の仲間と知り会えたことは、私の人生にとって何物にも代えがたい貴重な財産となりました。

2年前に還暦を迎えた私ですが、私がこれまで賜った様々なご厚情に対し、今後は少しでも後輩の皆様へ恩返し出来ますよう頑張っていく所存ですので、今後益々のご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



田川 輝昭（建設部門）

## 1. 略歴

技術士登録（H 6） 支部幹事（H 13～現在）  
（社）日本技術士会入会（H 7） 業務企画委員会幹事（H 9～H 18）  
センター事務局次長（H 7～H 12） 業務委員長（H 19～現在）

## 2. 会長表彰を受賞して

この度、北海道支部の推薦により、会長表彰をいただきまして、大変光栄に存じます。これまでご指導くださった緒先輩方、支部の皆様へ心よりお礼を申し上げます。

6月23日、虎ノ門パストラルで開催された表彰式に北海道支部推薦の古田氏、船越氏と参列し、表彰状と記念品をいただいて参りました。

私の技術士会活動は、業務開拓委員会、業務企画委員会、業務委員会と名前は変わっていますが、一貫して技術士業務の開拓、日本技術士会会員の増強に携わって参りました。今後も、社会に貢献できる技術士活動をして参りたいと思っています。宜しくお願い申し上げます。



**古 田 政 美** (応用理学部門)

**1. 略 歴**

技術士登録 (S 58)  
(社)日本技術士会入会 (H 7)  
センター事務局次長 (H 3～H 18)  
事業委員長 (H 7～H 10)

**2. 会長表彰を受賞して**

北海道の技術士の皆様のご推薦により、今回会長表彰をいただきました。

総会に、ほかの2名の方と出席し、表彰を受けてきました。

私にとって、技術士活動は事業委員会(センター)での見学会世話係が始まりでした。RS研究会の設立に皆さんと一緒に活動してきました。これからも社会に期待され・信頼される技術者を目指して活動してまいります。よろしくお願いいたします。



**柴 田 悟** (応用理学/建設/総合技術監理部門)

**1. 略 歴**

技術士登録 (S 63)	生涯教育推進実行委員会 (H 17～H 18)
(社)日本技術士会入会 (S 63)	応用理学部会 副部会長 (H 18～現在)
部門・部会検討特別委員会 (H 17～H 18)	事業委員会 (H 19～現在)

**2. 会長表彰を契機にして**

北海道を離れて早9年……。

しばらく鳴りを潜めておりましたところ、現副会長の岩熊まき氏にお声をかけて頂き、応用理学部会として東京で活動を再開いたしました。大島支部長をはじめ、北海道で活動する応用理学部門の皆様にご推薦を戴いたこと、後で知っただいです(謝謝)。

その後、本丸での活動にいろいろ参加させて頂き、北海道技術士センターや支部で活動していた時期とくらべれば、少しはパワーアップできたのではと自負しております。とりわけCPDを提供する重要性については、身に浸みており、若い技術者の教育に現在は関心が向かっております。この間の活動で得られた知識やノウハウを活かして、北海道での活動再開を個人的には希望しておりますが、こればかりは、いつ叶いますやら……。



## 宮 下 進 治 (森林部門)

### 1. 略 歴

技術士登録 (H 3)

(社)日本技術士会入会 (H 9)

森林部門技術士会理事 (H 9～H 19)

森林部門技術士会北海道支部長 (H 9～H 17)

### 2. 会長表彰を契機にして

5月中旬、突然会長表彰の決定通知をもらい、6月23日の第50回定時総会で表彰状をいただきました。顧みますと、平成9年に森林部門技術士会理事兼北海道支部長に就任して以来、技術士法の改正にかかる変更事案の主旨の把握とその連絡に意を尽くしてまいりました。試験制度、JABEE、CPD、総合技術監理部門、各技術部門統廃合論議などに関する目まぐるしい対応も一段落をみましましたので、年齢のことも考えて役職から身を引いた後の荣誉でした。

現在は、RS研究会(循環研分科会)と防災研究会(地盤系部会)の皆さんとお付き合いをさせてもらっております。この表彰を契機に、さらに各分野の技術士の皆さんとの連携を密にしながら、健康の許す限り、自分の専門分野の技術で社会に貢献していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



北海道支部からの表彰者集合